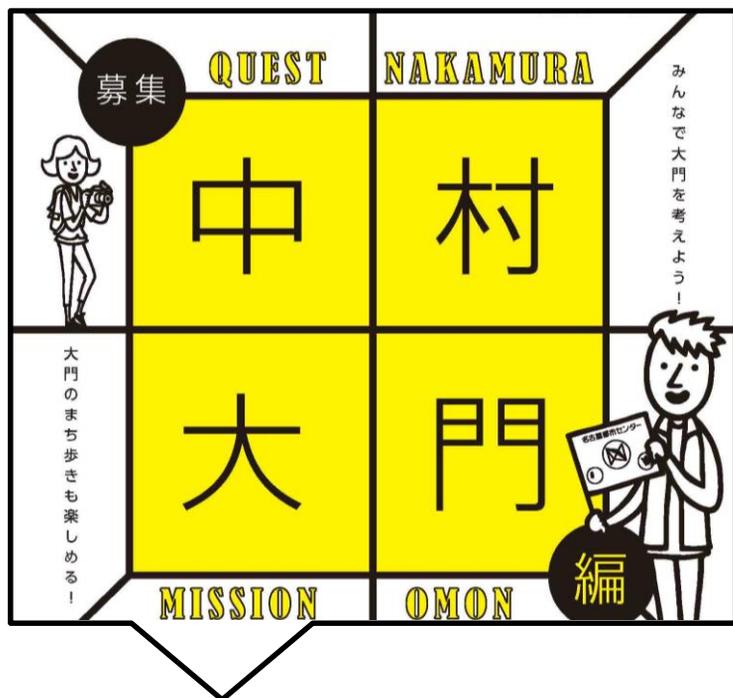


# 令和元年度 地域のまちづくりびと講座



## 第4回目

日時: 令和元年10月6日(日)  
大門まち歩き

時間: 18:30~20:30

場所: デイサービス松岡健遊館  
(旧松岡旅館) 大広間

講師: 稲葉 久之さん

(フリーランスファシリテーター)

ゲスト: 大門まちづくり友の会

加納さん、長谷川さん

中村まち歩きマイスター

吉岡さん

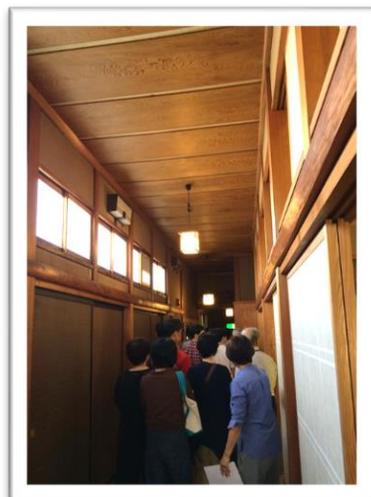
まちづくりびと講座の第4回のテーマは、「まちを歩き、活動を考えよう」ということで、実際に大門のまちを歩きフィールドワークを行った後、自分たちが活動団体になったつもりで、まちづくり活動を企画し発表しました。



## 中村まちあるきマイスターから大門について学ぶ

第4回は、大門エリアにあり今はデイサービスの施設として使われている旧松岡旅館で開催しました。歴史を感じさせる立派な建物の外観から中に入り、会場となる2階には、今は使われていませんが宴会場があり、天井の豪華なシャンデリア電灯に古き良き時代の名残を感じました。講座では、「中村まち歩きマイスター」として活動する吉岡幸夫さんから、遊郭街であり芸どころだった大門の歴史から見所と、最近のまちの中の課題にも話題が及び、皆さん興味深く聴き入っていました。

まち歩きに出る前に、吉岡さんによる案内で館内の見学も行いました。大正時代に建てられた建物の中にはステンドグラスや宮大工による建具の装飾、立派な庭園など趣があり、今では簡単に造ることができない貴重な建物を活用し、残していきたいという気持ちになりました。





## 大門のまちを歩き、まちづくり活動を考える

まち歩きでは、新しくできたばかりの「大門まち歩きマップ」を活用し、グループ毎に分かれて活動テーマになっている場所、見てみたいところを歩きました。

大門横丁や小路では写真を撮りながら、まちづくり活動のイメージを膨らませました。

中村まち歩きマイスターの吉岡さんからいただいた資料には古地図もあり、古地図を見ながらまち歩きすることによって遊郭が最盛期だったところと現在の違い、そして現存する遊郭建築の建物など、大門への興味も高まり、街を魅力的にするためにどのような活動ができるかを、まち歩きをしながらグループで考えました。

一組、二組とまち歩きからそれぞれのグループが戻ってくると、お互い「どこを見に行ったか、どんな感じだったか」大門の街を歩いた感想を、受講生同士が共有し、初めて訪れた方も、そうでない人も、まちの新たな気付きにつながりました。



## まち歩きから得たことを踏まえ、活動計画書を作成する

まち歩きの後は、「活動計画書」作りのグループワークを行いました。

今までは、現地を見ずに想像で考えていた活動の案を、模擬的ではありますが活動団体名やプロジェクト名なども含め、現地の様子に合う活動内容で具体的に決めました。

発表タイムでは、いいね！の投票形式で、参加者が2票、大門まちづくり友の会とゲストの中村区の下山区長が5票の持ち点とし、各グループの活動計画書のプレゼンを聴いて、いいと思うグループにそれぞれ赤い丸シールでポイントを貼りました。

稲葉さんによる得点発表と講評では、得票数の多いグループからは歓喜の声、考えた活動の想いが伝わらず点数が伸びなかったグループからは落胆の声が上がりました。最後に、中村区長からも講評を頂き、市民の主体的なまちづくりへの想いや行動への感謝の言葉が述べられました。

